

## 久我山だより

平成31年1月8日

杉並区立久我山小学校

電話(3331)3631 FAX(3247)8415

URL <http://www.suginami-school.ed.jp/kugayamashou/>つちのとい  
「己亥」年を挑戦の年に

校長 筒井 鉄也

明けましておめでとうございます。本年が皆様にとりましてより良き年となりますよう、教職員一同、心から祈念いたします。



今年の干支は「己亥（つちのとい）」です。「己」とは、「おのれ」とも読むことができるように、自分自身を示す意味も含まれています。

「亥」は、「核」という言葉もあるように、物事を中心という意味もあります。

よって、「己亥」は、「自らを知り、自らが切り開いていく年」、つまり「挑戦の年」といえます。



さて、2016年1月に内閣府から、未来社会の姿として「ソサエティ5.0」が提唱されました。

「ソサエティ5.0」とは、狩猟社会（ソサエティ1.0）、農耕社会（ソサエティ2.0）、工業社会（ソサエティ3.0）、情報社会（ソサエティ4.0）に続く、新たな社会を指すもので、「先端技術を取り入れ、快適で活力に満ちた質の高い生活を送ることができる人間中心の社会」といわれています。

その中で取り組むべき政策の方向性として、「公正に個別最適化された学びを実現する多様な学習の機会と場の提供」や、「基礎的読解力、数学的思考力などの基盤的な学力や情報活用能力をすべての児童生徒が習得」などが示されました。

では、学校の役割はというと、次のように示されています。

- 子どもの学びの状況を観察し、個々人に応じた学びの実現の支援
- 実体験や他者との対話・協働を始め多様な学習活動の機会を公正に提供する役割の重視
- 個人の学習成果（作文、作品等）を学びのポートフォリオ（ファイリング）として電子化し蓄積等

キーワードの一つとして見られるのが、「個人」の重視ということです。もちろん、現在の学校教育も個の成長を期しながら日々活動を行っているわけですが、次世代は、より「個」の認知と性向の特徴を踏まえた支援が必要であり、その中で協働学習をデザインすることが肝要といわれています。



今年は挑戦の年、個のがんばりを発揮する年です。そして、この「挑戦」や「がんばり」は、これからの社会を形成する子どもたちにとって、必要な資質を養うことにつながっていくにちがいありません。

本年も、本校へのご理解とご協力をよろしくお願いたします。